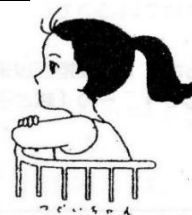


「そのままでつながろう」西海の地させぼへ

第24回 登校拒否・不登校問題 全国のつどいin長崎



～語りあおう 学びあおう 子どもたちをまん中に～

わが子の登校拒否・不登校、ひきこもりに悩む
お母さん お父さん、胸をいためている先生方
ともに悩み、こころをくだしているみなさん
西海の地させぼで全国の仲間たちと思いや悩み
を語りあいましょう

☆とき

2019年8月31日(土)～9月1日(日)

8/31(土)受付11時30分～ 開始12時30分 9/1(日)開始9時
くじゅうしま

☆ところ

九十九島ベイサイドホテル&リゾート フラッグス

(長崎県佐世保市鹿子前町740 電話 0956-28-2111)

☆記念講演

「私という宝物 ともに生きるまなざしから」

まつざき みちのすけ
講師 松崎 運之助さん

※基礎講座、分科会、特設分科会、当事者・青年・子どもたちのひろばもあります

主催 登校拒否・不登校問題全国連絡会

第24回登校拒否・不登校問題全国のつどいin長崎実行委員会

後援 長崎県 長崎市 佐世保市 諫早市 大村市 島原市 南島原市 雲仙市 西海市 平戸市 松浦市 五島市
壱岐市 対馬市 長与町 時津町 東彼杵町 川棚町 波佐見町 小値賀町 佐々町 新上五島町
長崎県教育委員会 長崎市教育委員会 佐世保市教育委員会 諫早市教育委員会 大村市教育委員会
島原市教育委員会 南島原市教育委員会 雲仙市教育委員会 西海市教育委員会 平戸市教育委員会
松浦市教育委員会 五島市教育委員会 壱岐市教育委員会 対馬市教育委員会 長与町教育委員会
時津町教育委員会 東彼杵町教育委員会 波佐見町教育委員会 佐々町教育委員会 新上五島教育委員会
長崎県社会福祉協議会 佐世保市社会福祉協議会 長崎新聞社 朝日新聞社 西日本新聞社 読売新聞社
毎日新聞社 (7月1日現在 上記以外にも多数後援をいただいております)

【問い合わせ先】「第24回 登校拒否・不登校問題 全国のつどいin長崎」実行委員会事務局

住所：〒857-0874 長崎県佐世保市京坪町8番1号

NPO法人フリースペースふきのとう気付

TEL:(0956)25-6222 FAX:(0956)76-8131 電子メール：f-porepore@shirt.ocn.ne.jp

ホームページ：http://zenkokuren.jp/tsudoi/から入れます

日程

8月

11:30 12:30

14:45 15:15

17:15

18:30

20:30

31日

(土)

	受付	はじめのつどい 記念講演	休憩 移動	分科会 基礎講座	休憩 移動	大交流会	各種 交流会
--	----	-----------------	----------	-------------	----------	------	-----------

9月

1日

(日)

9:00	12:00	13:00	15:00	15:30	16:00	
分科会	昼食	分科会	休憩 移動	おわりの つどい		

◇はじめのつどい◇

☆オープニング 12:30~13:00

☆あいさつ 13:00~13:15

☆記念講演 13:15~14:45

佐世保在住。箏教室講師。大師範。
優しい心落ち着く調べの箏演奏です。
雅な世界をお楽しみください。

「私という宝物 ともに生きるまなざし」 松崎 運之助さん

講師プロフィール：1945年(旧満州)生まれ。長崎の中学校を卒業後、三菱長崎造船所に就職。働きながら定時制高校を卒業し、明治大学第二文学部へ入学。町工場などで働きながら、同大学を卒業。江戸川区立小松川第二中学校夜間学級、足立区立第四中学校夜間学級などで33年間勤務。2006年定年退職。現在は、「路地裏のつどい」を主宰し、「路地裏通信」を発行。いずれも来年30周年を迎える。松竹映画『学校』(山田洋二監督)の原作モデルで制作協力者。

◇基礎講座◇ 15:15~17:15

1「家庭で」講師・村上公平さん(NPO法人おおさか教育相談研究所相談員)

子どもが学校へ行けなくなった時、親は不安とあせりでどうしたらいいのかわからなくなります。子どもの表現する言動や言葉にならない思いをどう理解し、受け止めていったらいいのか、家庭で子どもとどのように関わり、過ごせばいいのかまた、担任の先生や学校とどうつながっていけばいいのか、一緒に学び合っていきましょう。

2「学校で」講師・高垣忠一郎さん(立命館大学名誉教授・心理臨床家)

今、学校は子どもも先生も管理でしばられ息苦しくなっている現状があります。子ども理解の基礎を学び合い、生きづらさにどう寄り添い、援助していけばよいのか、親と先生が子どもの成長・回復にどう力を合わせていけばよいのか、今の学校制度も含めて一緒に考え合っていきましょう。

登校拒否・不登校問題全国連絡会

「苦しそうな顔で眠るわが子。起きると悪態をつく。…どうしてこんなにつらいのか」
親も子も重いテーマを背負いながら、ようやくたどり着きました。
ありのままに思いを語り合える…わが子のこと、学校のこと、そして子どもたちの未来、社会のこと。
全国連絡会は、ひとりぼっちで悩む人をなくそうと1995年に発足しました。
親、教師、専門家、研究者、また個人、団体を問わず、加入を呼びかけています。

全国連絡会ホームページ→<http://zenkokuren.jp/>

第23回in大阪 参加者の声

- ★色々な立場の方と交流できてとてもよかった。
- ★子どもの心の声を聴いてあげたいと思った。
- ★悩んでいること、聞いたかったことを話すことが出来てヒントを貰えた。自分だけじゃないと思え、解決にならなくてもホッと少し心が軽くなりました。
- ★本人の心に寄り添ってサポートしてくださる。こんな優しいつどいをありがとうございます。

分科会は出入り自由です。わからないことがありましたら、総合受付にご相談ください。

◇分科会

※8/31(土)15:15~17:15

※9/ 1(日) 9:00~15:00

①小学生の登校拒否・不登校

幼稚園・保育園(所)への行きしぶり、入学早々の登校しぶりや学年途中で行きにくくなった子どもが増えています。いじめがきっかけになる場合もあります。休んでしまうと長引かないかと心配になります。親と子のかかわり、学校とのかかわりなどについて語り合しましょう。

②中学生の登校拒否・不登校

学校生活の変化へのとまどいや息苦しさ、思春期特有の心の揺れ、友達や先生とのかかわり、進路のことがいっそう子どもの悩みを深めています。子どもの思い、親と子のかかわりなどについて語り合しましょう。

③高校生の登校拒否・不登校

高校に行けなくなると、不安や焦りの中で子どもは悩みながら自分と向き合い、進路や生き方を探すようになります。留年、転校などゆれながら将来を模索する子どもを、親はどう見守りどう関わればいいのか語り合しましょう。

④障がいがある子どもの

登校拒否・不登校

子どもに障がいがある、または、あるかもしれないと悩んでいる親と教師、関係者が交流しましょう。発達障がいなどについても、悩みや不安を出し合しましょう。

⑤学校とのかかわり・学校づくり

子どもの成長・発達を見つめ、学校に行けない、行きづらい子どもを支えるために、親や教師は何ができるでしょうか。ともに手をつなぎ、子どもが主人公の学校をつくっていくにはどうすればいいのか、語り合しましょう。

⑥青(成)年期をともに生きる

学校から離れると、その「しぼり」から解かれる一方、親も子どもどこにも所属していないという不安がつのります。また、人や社会との関わりに困難を抱えていたり、いわゆる「ひきこもり」と言われていたりする青(成)年期の本人・家族の悩みを語り合い、交流しましょう。

⑦さまざまな進路・自立に向かって

学校に行けなくなると、進学や就職、将来の生活まで閉ざされてしまうのではと不安になります。自分をじっくり見つめることも、自立への営みではないでしょうか。自立とは？さまざまな進路とは？たっぷり語り合しましょう。

⑧居場所とは

A 学齢期の子どもが安心できる居場所とは？ 行政の適応指導教室のあり方なども含め、子どもや親の願いに応えられる居場所について語り合しましょう。

B 青年が安心して集まり交流できる「場」とは？ 自立に向けてどんな支援や援助体制が求められているのでしょうか。また親には何ができるのでしょうか。行政への働きかけなど、それぞれの経験を語り合しましょう。

⑨親・家族の役割と家庭づくり

子どもの成長・自立を支える上で親・家族の支援は大切です。家庭が安心できる場になると、子どもは落ち着きを取り戻します。親の生き方や価値観が問われることもあります。

親や家族はどう子どもを見守ればよいのでしょうか。交流し、語り合しましょう。

⑩手をつなぐ輪を広げて

わが子の登校拒否・不登校に悩む親たちが、地域でどう手をつないでいけばいいのでしょうか。「親の会」の活動のあり方は？ 地域の「親の会」の相談機関や学校・行政とのかかわり、専門家との連携などについても語り合しましょう。

⑪医療とのかかわり

子どもに医療的なケアが必要ではないかと悩んでいる親と関係者が交流しあいましょ。

医療とのかかわり方など悩みや不安を出しあい、語り合いましょ。

⑫登校拒否・不登校と「非行」

「学校に行けない」「行きたくない」「居場所がない」「学校が入れてくれない」など、息苦しさを「非行」という行動で表現する子どもたちの心の叫びをどう受け止め、どうかかわっていけばいいのでしょうか。

「信じて待つ」とは…。家庭・学校・親の会・その他の機関との連携についても語り合いましょ。

◆特設分科会

ひきこもりを語り合う

ひきこもり続けているわが子、何を思い悩んでいるのかわからなくて不安がつのります。

どうしたらいいのだろう、誰に話したらいいのだろう、そんな気持ちを心ゆくまで語り合いましょ。

○当事者・青年・子どもたちの“ひろば” 8/31(土)12:30~17:15 9/1(日)9:00~15:00

学齢期の子どもから青年まで、出入り自由のひろばです。遊んだり、おしゃべりしたり、のんびりゆったり何をしててもOKな場所です。

8/31(土)11:30~17:15 9/1(日)9:00~15:00

☆ゆたつと処

ゆっくりしたいな、休憩をとりたいな、自分の時間を過ごしたいな… そんなとき、いつでも気軽に寄ってください。

☆書籍コーナー

登校拒否・不登校にかかわる本を中心に販売します。手に取ってゆっくりご覧ください。

☆ギャラリーかっちえて

絵・イラスト・写真・漫画・詩など…展示希望の方は事務局にお問い合わせください。

◇大交流会(夕食会)

8月31日(土)18:30~20:30

「つどい」の参加者が一堂に会し、食事をしながら楽しく交流できるひとときです。

各都道府県の参加者紹介もあります。たくさんのお会いが待っていますよ！

◇各種交流会

大交流会終了後・自由参加 20:30頃から

大交流会の後は、父親の交流会、青年の交流会、分科会で知り合った人との交流会など、初めてでも気軽に参加できる交流会が自主的に開かれます。

費用

参加費(18才以下無料)

両日参加 4,000円(青年・学生2,500円)

一日参加 3,000円(青年・学生1,500円)

宿泊費(1泊朝食付)

大人(中学生以上) 7,710円

小学生 5,400円

9/1(日)の昼食代(お茶付き) 1,000円

大交流会費

大人 5,000円(税込み)

未成年 4,000円(税込み)

前泊(8/30)の宿泊費	1泊朝食付	1泊2食付
大人(中学生以上)	7,710円	12,030円
小学生	5,400円	9,720円

(例)大人、一人、両日、交流会参加の場合

(参加費)4,000円+(宿泊費)7,710円+(大交流会費)5,000円+(昼食代)1,000円=17,710円

※参加取り消しの場合、ホテルとの関係でキャンセル料をいただくことがあります。

参加申込み

参加申込み用のゆうちょ振替払込用紙1人1枚ずつを使ってお申込みください。

家族での参加の場合も1人につき1枚でお願いします。払込手数料はご負担ください。

所定の振替払込用紙がない場合は、実行委員会事務局にご連絡いただければお送りします。

申込みが済んだ方には、後日、参加証と詳しいご案内をお送りします。

★分科会について現時点で参加希望の欄に○を付けてください(当日変更可能です)。

★食事布団とも不要の幼児については、親の払込用紙に名前をお書き添えください。

★食物アレルギーの方は、払込用紙の連絡事項の欄に、食材名をご記入ください。

★託児をご希望の方は、払込用紙の申込み欄にご記入ください。

★前泊(8/30)をご希望の方は、払込用紙の申込み欄にご記入ください。

※申込みがなくても、当日の参加もできます。ぜひご参加ください。

★申込みは7月31日(水)までをお願いします。

参加証は8月中旬に発送の予定です。

交通アクセス

●電車、路線バスでお越しの方

「佐世保駅」より路線バス「パールシーリゾート・九十九島水族館」行きで終点まで18分260円その後徒歩9分

「佐世保駅」よりタクシーで約15分 料金は1810円(予想料金)

※佐世保駅からつどい会場まではホテル専用シャトルバスがあります。

●マイカーでお越しの方

西九州自動車道「佐世保中央IC」で降りて鹿子前方面へ約10分

●飛行機でお越しの方

「長崎空港」よりバス(1時間35分1400円)もしくはジャンボタクシー(55分1500円)で佐世保駅まで

後は電車、路線バスと同じです。

※ジャンボタクシーは予約が必要です(TEL0956-24-7713)ネット予約がおすすめ(佐世保ジャンボタクシーで検索)